DO YOUR BEST

HAPPY NEW YEAR 2019

NO. １９５

２０１９．１発行

介護福祉士

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責　小山田　米子

謹賀新年

『新春のお慶びを申し上げます。』

会長　小山田　米子

新しい年が素晴らしい一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、地震・豪雨災害と全国各地において被害がありました。心よりお見舞い申し上げます。

福島県介護福祉士会は、会員の皆様と関係団体の皆様のご協力のもと福祉・研修事業が滞りなく遂行されております。職場におかれましては、福祉人材不足・人材確保が出来ない深刻な状況にもかかわらずご支援ご協力を頂きまして感謝の気持ちで一杯です。

2020年日本介護福祉士全国大会・介護学会を福島県郡山市で開催致します。生涯に一度の祭典です。

会員の皆様のご協力を得まして、全国の皆様に復興している福島県に触れて頂きたいと願っています。ご支援よろしくお願い致します。

平成30年度から開催しました、ファーストステップ研修を継続して、31年度も開催致します。その後認定介護福祉士研修も開催予定でおります。福島県から認定介護福祉士誕生を願って研修事業に力を注いで行く所存でおります。私達に求められていることは、「自分は、何が出来る人なのか」です。介護福祉士の専門性はどこにあるかを振り返ってみましょう。

毎日の苦労はありますが、「笑顔があれば、自分が変わる、他人が変わる、運命が変わる」を信じて笑顔を絶やさず健康で楽しい日々を送れる「努力」をしてはどうでしょうか。

一般社団法人　福島県介護福祉士会

〒９６３－０１０８　福島県郡山市笹川一丁目１８４－２９　クレストハイツ１８４　１０２号室

FAX　０２４－９４３－１８４８　E-Mail　jaccw_fukushima@ybb.ne.jp

ホームページ　http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/

謹賀新年

亥

【平成30年度　ケア・リハビリ研修会】

研修委員会　安齋　将人

12月1日（土）・2日（日）の2日間に渡り、ケア・リハビリ研修会を開催いたしました。毎回開催する地域を変えて行っていた本研修会ですが、今年度はいわき方面ということで、かんぽの宿いわきさんを会場にさせてもらいました。
今年度のテーマは「呼吸器疾患に関するリハビリテーション」「転倒が多い方への予防的アプローチ、転倒後の対応等」「摂食、嚥下に関するリハビリテーション」「ポジショニングや褥瘡に関するリハビリテーションの視点」の4点を、福島県理学療法士会の講師の方々に講義していただきました。介護を行う上で必ず関わるテーマを今年度もお願いし、リハビリテーションの専門職の視点でわかりやすく説明をしていただき、大変充実した2日間だったと思います。やはりメカニズムを理解しているのと無いのとでは、関わり方が変わってしまい、その予後の左右してしまうことになります。知識は大切だなと再認識しました。
最後に、忙しい中講義を引き受けてくださった講師の方々、たいへんありがとうございました。

【介護の日イベント：福祉・介護の仕事再就職支援講習会を開催して】

県南方部　緑川　慎一

11月10日（土）、介護の日イベントを開催し、来場者も73名の方が参加されております。
内容としては再就職相談に加え、インボディ、チラシの配布等を行いました。その中で申し込みのあった67歳男性は現在新聞配達や牛乳配達などの仕事を行なっているが、仕事で培った土地勘を生かし利用者の送迎などの仕事は出来ないだろうかと考え相談に来たと話されておりました。その方の住む地域にある施設や参加したスタッフが所属している施設の業務内容等を参考にアドバイスさせていただきました。
インボディのブースでは、現在の自分の体を知れるとあって十代未満の子供から高齢者の方まで測定していただき大変盛況でした。測定していただいた方の口コミでさらにブースに来てくれる方もおり介護福祉士会を知ってもらう意味では大変意義のある1日でした。
イベントを行ってみて検討する事項と致しましては、イベントの目玉としてインボディをお借りしましたが、介護の日の前日イベントとあって次の日に使う方部へ受け渡しをする時間との兼ね合いから15：00までは使用できなかった事が若干残念でした。実際に口コミで15：00前に来てくれた方もおりました。次年度への要望と致しましては、インボディに変わる体にまつわる測定ができる機械（背筋力計、握力計）や健康器具など導入していかがでしょうか？是非ご検討頂ければと提案させていただきます。

2019

【南相馬健康福祉まつりに参加して】

相双支部　今野喜久子

10/20土曜日、今年も南相馬で開催される南相馬健康福祉まつりに参加し、ハンドケア・ｲﾝﾎﾞﾃﾞｨの体験コーナーやハッピーケアさんの福祉用具体験コーナーも同時に行いました。

お天気にも恵まれ大勢の方が体験して行ってくれました。毎年来られている方もいて、「きもちがいい」「軽くなった」など、順番待ちができるほど多くの喜びの声が聞かれました。ハンドケアをしながら介護の悩み・潜在介護福祉士の再就職支援のための声かけをしました。

また、他のブースでも様々な体験コーナー・ステージでのパフォーマンス・焼きそば・たこ焼きなど美味しい物もたくさん出店していました。

【介護の日のイベントを実施して】

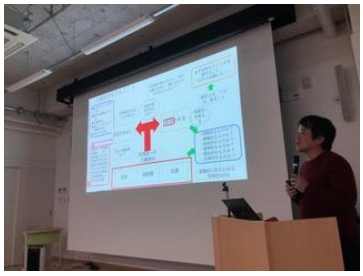
会津方部　坂原　敦

会津方部での11月11日介護の日のイベントを、道の駅ばんだいの出店ブースをお借りして行いました。日曜日ということと、他にもイベントを行っていたということもあり、たくさんの人がいらっしゃいました。そんな中、インボデイ体験と認知症の紙芝居の上映を行いました。インボデイ体験では、足を留めてくださる方が多く、50名以上の測定を行い、自分の結果を真剣に見ておられました。自分の体のことを気にされている方が多いことを実感しました。認知症の紙芝居上映は、来場者の方にお声かけし30分程度の紙芝居を見ていただきました。とても分かりやすい内容で、聞いてくださった皆さんも聞き入っておられました。3時間という短い時間でしたが、たくさんの方に足を留めていただきました。今後も少しずつでも介護というものを身近に感じていただければと思い実施していきたいと思います。

【私達の認知症ケアを振り返る～必要な視点と技術】

県南方部　鈴木信也

11月22日、しらかわ介護専門学校にて「私達の認知症ケアを振り返る必要な視点と技術」というテーマで福島県認知症介護指導者の橋本好博先生を講師に県南方部勉強会が開催されました。認知症とは、物事を見極めたり、認識したり、判断する能力が病気によって出来なくなる事であるという事を学びました。又、認知症を理解することは不安を察知する事、考えるヒントを与え考える機会を作る事、その方の気持ちの変化に気付き知る事が大切であると学びました。日頃、ケアをして行く中でどう対応するのか、マニュアルに頼るのではなく相手が何を求めているのか？その人の気持ちを知り、何をどのように伝えているのか、その方一人一人への関わり方が大切であると改めて感じました。日頃つい業務優先しがちになってしまうのが現状でしたが、今回の勉強会で学んだ事を生かし出来るだけ相手が何を伝えたいのかを感じ、日々のケアに努めていきたいと思います。



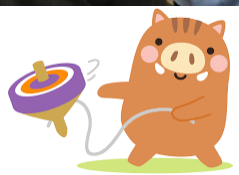
【介護の日セミナー】

相双方部　今野　喜久子

12 月 8 日土曜日　福島県男女共生センターにおいて「介護の日セミナー」が開催されました。福島県介護福祉士会では、2 つのブースでそれぞれ、介護技術・フットケア、インボディ体験コーナーを行いました。フットケアでは、10 分間の短い時間ですが足を揉む事で体全体が暖かくなり、軽くなりスッキリします。

また、足の底は第 2 の心臓と言われるくらい体の中のいろんな部分と関連しているので、足を揉む事で健康になっていきます。

多くの参加者に体験して頂き 「癒された」 と好評でした。皆さんも機会がありましたらフットケア講習会に参加してみませんか。利用者・家族・ご自身にケアを実施して健康増進してみましょう。



【出会いふれあい交流会に参加して】

県中方部　渡邊　晴美

12 月 13 日（木）、二本松男女共生センターにて【出会いふれあい交流会】に参加しました。ミニ門松作りでは、皆で協力し合いながら竹を斜めに切り、体力が消耗されました。そこから門松作りでは、松を竹の周りに綺麗に飾ることが思うようにできず、かなり苦戦しました。できた門松を見てみると、見本とはだいぶ寂しい門松。「ま、初めてにしては上出来だな。」なんて思って飾ってみると、倒れてしまい、自分の不器用さを改めて確認しました。時計を見たら、あっという間に 12 時過ぎていました。

お昼ご飯は、皆でワイワイと作った豚汁・うどん・おにぎり・お漬物・りんご・シュークリームに、参加者が手作りで持ってきてくれたアップルパイ・カップケーキ等、スイーツパラダイス状態。美味しいものを皆で頂き、門松作りの疲れが一気に飛びました。

ファーストステップ研修の一コマ

2018. 12. 23
講師：松本誕生日

倫理委員会より

冬になると特に訪問介護提供時には、対応に考えさせられることがありました。
ヘルパー提供後に利用者様のご厚意で「寒いから飲んでって」とお茶の接待を受ける機会が多くありました。
「利用者様とは私的な関係にならないように」との思いはありますが、お断りするのが難しいことが多々あります。利用者様の中には、お茶をお断りすることで「私のお茶はおいしくない？飲めないの？」などと気落ちする方もおり、独居の方は特に、ヘルパーにお茶を入れるという行為で生活への自信にも繋がったり、日々の暮らしの中でお茶を入れる家事動作ができることで、以前よりも生活に意欲が持てるようになる方が多いと感じておりました。
そのため、提供後の会話が可能な状況には極力対応するようにしていました。しかし、会話が延々と続く方など状況によっては、職場で確認しながらの対応としていました。

【県民介護基本講座】

会津方部　増井里美・夏井洋子

平成 30 年 12 月 22 日（土）二本松男女共生センターにて介護基本講座「高齢者の栄養と食事」をテーマに調理実習が行われました。講師に介護福祉士会会津方部担当で、お天気も良く参加者 13 名、3 グループに分かれクリスマスをイメージした料理を短時間に 4 品作る事ができ美味しく楽しく作りました。是非、下記のレシピを参考に皆さんも作ってみてはいかがでしょうか。

いんふぉめーしょん

いわき方部新年交流会
テーマ：体験を通して認知症を理解しよう
内　容：認知症のゲームを通して、認知症を理解しケアに活かせるスキルを学ぶ。
日　時：平成31年1月18日（金）午後7時から
場　所：かつ丸（鹿島町走熊小神山47－1

県中方部勉強会・お料理教室のお知らせ
☆口腔ケアについて
日時：平成31年1月19日（土）10：30～
場所：介護福祉士会事務所
☆ビタミンたっぷりお料理教室
日時：平成31年2月23日（土）10：00～
場所：介護福祉士会事務所
※参加希望者は、それぞれ3日前までに電話にてお申込み下さい。　　渡辺　090-2602-6249

知られざる秘湯【県北編】

師走の候、皆様いかがお過ごしでしょうか？今回は野地温泉をご紹介します。
福島市内も白く雪が積もった12月9日の日曜日、山を眺めても全く見えない状況でしたが「硫黄の香りで雪見風呂」、今日は絶好の温泉日和ではないだろうかという勘は的中でした。山に近づくにつれ雪の白さも増して景色は見えませんでしたが、車道はしっかり除雪され、車の通りも少なく、心配をよそにあっさりと到着できました。温泉に近づくにつれ硫黄のにおいに包まれました。野路温泉ホテルには男性専用、女性専用以外に4か所のお風呂があり、一度で何度も楽しめます。日帰り入浴800円はお得だなと感じました。泉質は硫黄泉で、乳白色のやわらかいお湯でした。アトピー性皮膚炎、慢性皮膚炎などに効果があるようです。午後1時に男女の入れ替わりがあり、「めん処」で、おすすめの醤油ラーメンを食べてから、「千寿の湯」に入りました。昔から変わらないという湯船で、お湯を楽しみたい私にとっては最高の空間でした。夏は登山客でにぎわいますが、冬場の秘湯は閉鎖されているところが多いなか、“雪が降ってもここまでは除雪されます”とのことでしたので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

編集後記

大きな地震や台風が次々と日本各地を襲い自然災害の多い1年となりました。年末を迎えても暖かい日があったと思うと急に寒くなるなど、体調管理が難しい日が続いています。日本の気候が確実に変化しているようです。変わると言えば、来年は今の天皇が譲位し、新しい天皇が誕生する年になり、どのような年号になるのか楽しみです。干支は猪ですが、穏やかな日々が過ごせることを祈りたいと思います。